

Berlin Report

December 2020

CONTENTS

- * Project 1: REMI/ Restaurant
- * Project 2: Confiserie Walter/ Shop

1. REMI

Project Overview

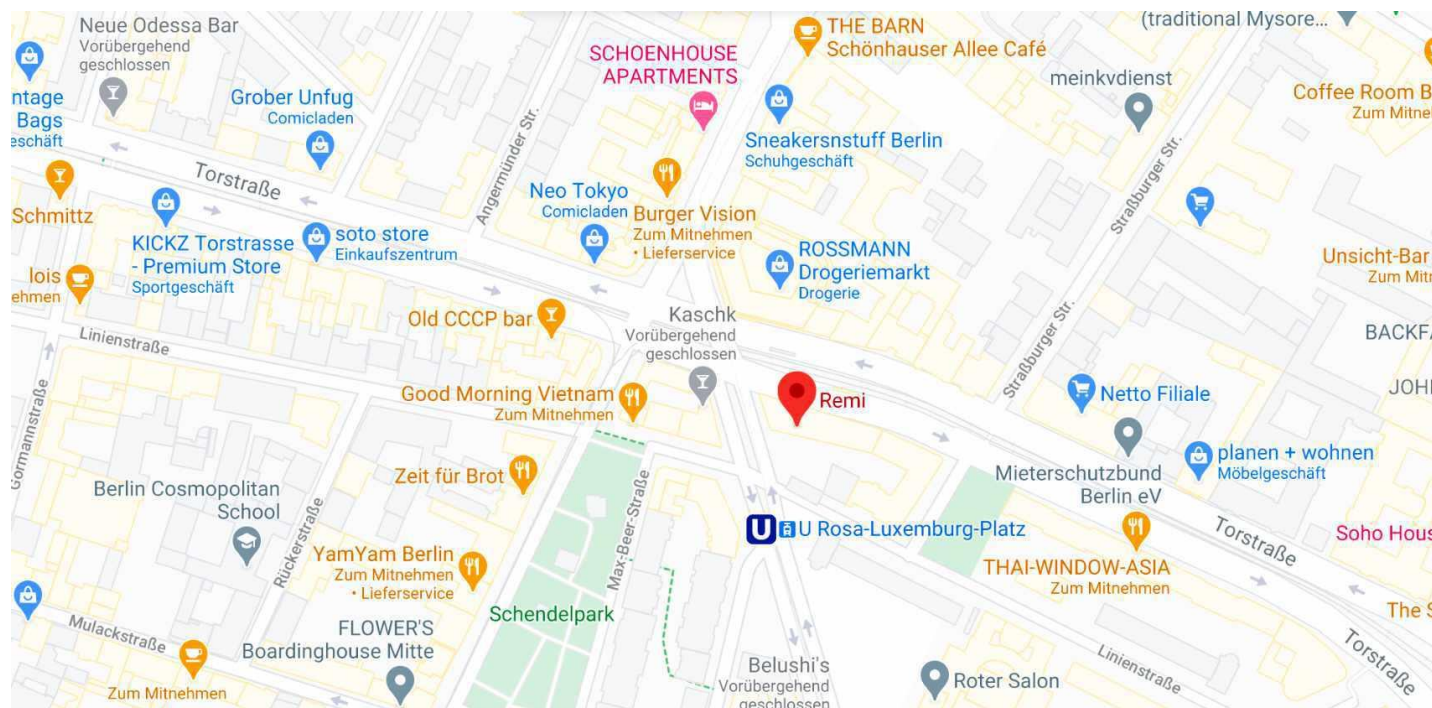
美しい装丁で知られる創業 1950 年の文学・哲学系出版社 **Suhrkamp Verlag**。その新社屋の 1 階にオープンしたのがレストラン「REMI」だ。店のオーナーシェフは、2016 年にクロイツベルク地区にオープンして以来人気のレストラン「**Lode & Stijn**」のシェフの 1 人、**Stijn Remi**。店の中央にはオープンキッチンが据えられ、路面に面した全面ガラス張りのフロントからもよく見えるところに、自らの名前を冠した店への意気込みが感じられる。

打ちっ放しのコンクリートが特徴的な建物に加えて、この店の空間も天井や床などは明るい色のコンクリート。キッチンの上の換気扇やダクトなどは、パンチング加工のアルミニウム板で覆い、ゲストテーブルも同色のグレーで揃えた空間に、キッチンや棚などはシックな煉瓦色の MDF（ファイバーボード）や大理石にしてアクセントを加え、視線をキッチンへと向くよう考えられている。繊細だが肩の力が抜けた料理を提供する店らしく、軽やかでモダンな印象。ランチを充実させ、昼間は周囲の店やギャラリーのスタッフなどで賑わう。ワインや自家製の保存食などが並ぶ店の上段には、**Suhrkamp Verlag** 出版社の美しい本が虹色の背表紙を見せるように並べられているのも素晴らしいアクセントだ。

Project Details

1. Type of Business : Restaurant
 2. Open Date: 08/08/2020
 3. Location: Torstrasse 48, 10119 Berlin
 4. Size: 200 m2
 5. Architect: Roger Bundschuh /Ester Bruzkus (Interior)
- Foto:Robert Rieger

LocationMap





入り口から左手を見たところ。中央のキッチンにスッと目が行く。Muller Van Severen のライトもキッチンの色と同色をセレクト。



奥のキッチン側から入口を見たところ。照明の配線がキッチンの周りを囲むように空間を横切り、空間に流れとリズムを与えている。



奥の棚に並ぶのは、同ビルの出版社の本。並べると虹色になる背表紙が特徴的。シックな色味で抑えた空間の中でひとときわ映える。



エントランス部分にも煉瓦色の台を。トイレや荷物置き空間は明るいグレーのカーテンで目隠しをしている。

2. Confiserie Walter

Project Overview

創業 1915 年の老舗菓子店「Confiserie Walter」。ベルリンの中でも中心部を離れた落ち着いた住宅地にある本店とは全く異なる客層のブティックやバーなどが肩を並べるミッテ地区のこの通りに、オーナーが変わったのを機に、2018 年のクリスマスシーズンにポップアップストアをオープン。人気が定着し、この場所に腰を据えることとなった。100 年以上の伝統を持つ工房が生み出す伝統的な手作りのチョコレート菓子を、その伝統を伝えながらも若い

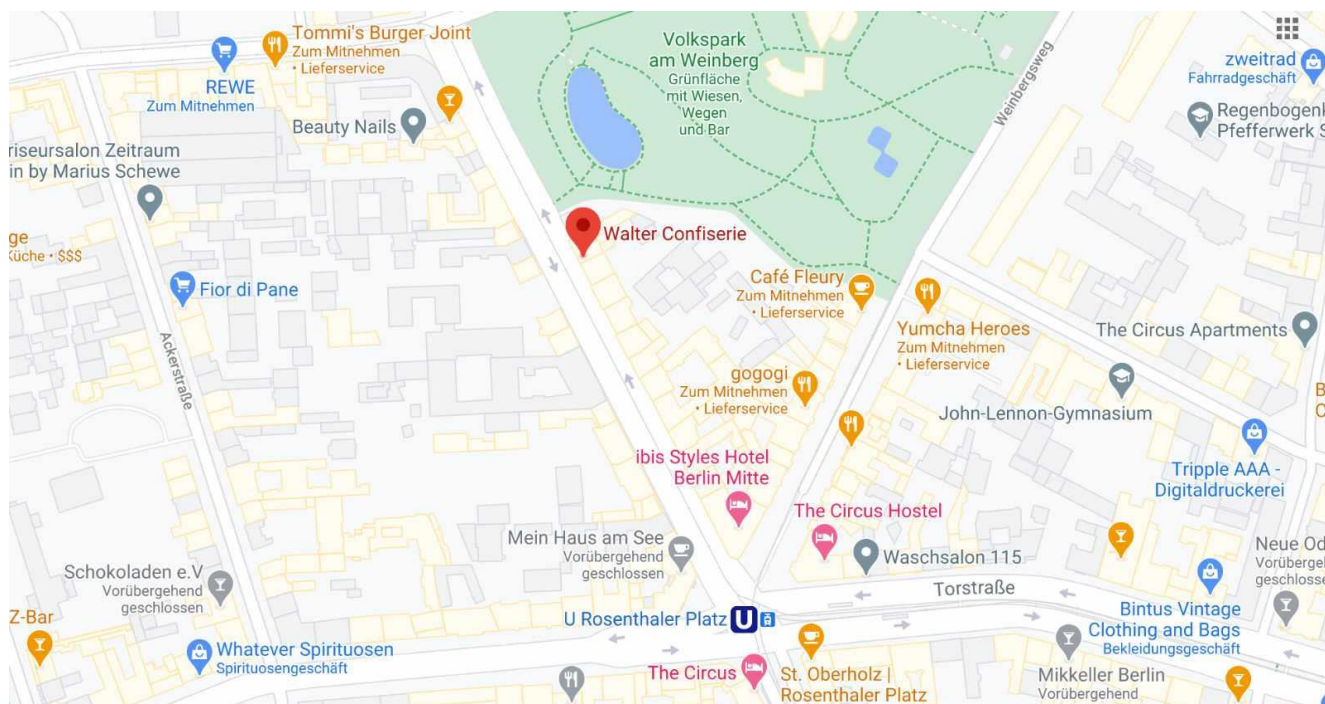
世代に手にとってもらいたいというアイデアで生まれた店舗は、新オーナーが自らインテリアを担当した。昔ながらの菓子店を思わせる天井まで届く大きな棚に、市場などに出店するときに使われていた手押し車、新商品などを並べている古いベンチなどの家具は、現オーナーの父が収集したアンティークの品。歴史を感じさせるディテールだが、色はモダンなグレーに塗り、古臭さを感じさせないようにしている。

また、店内奥にある工房とカウンター部分は、工場らしくガラス張りのモダンな作りにして、伝統的な部分とのコントラストをつけている。美味しいものを変わず作り続けているだけでは新しいお客は掴めない。伝統と新しさが同居する空間で、興味を持った人には実際に作っているところを見てもらい、伝統的な技術に裏打ちされた味を味わってもらうことで、初めて次の世代へと伝わっていくのだ。

Project Details

1. Type of Business : Confiserie, shop
2. Open Date: 25/11/2018
3. Location: Brunnenstrasse 13, 10119 Berlin
4. Size: 60 m2 (Shop 40 m2 + Manufacture 20 m2)
5. Design: Inhouse (Philipp Thiedig, Caroline Thiedig, Nils Hölterhoff)

LocationMap





店のロゴカラーでもあるマスタードイエローに映えるよう、オーナーの父が趣味で集めていた古い家具をシックなグリーングレーに塗り直してインテリアに。



カウンターと工房部分はモダンなガラス張り。ロゴなどは昔ながらのものを生かしている。



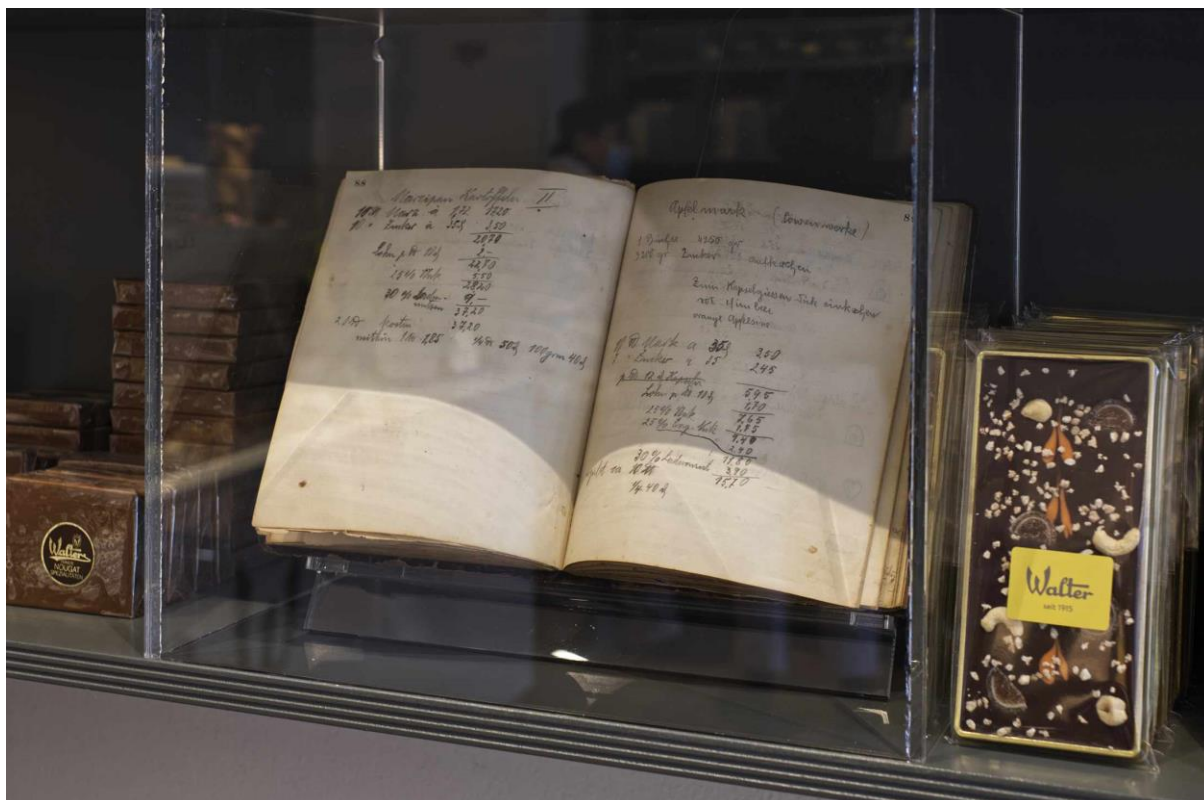
伝統的なお菓子屋の店に商品がずらりと並ぶ。



ガラス張りのカウンターの奥に古い製菓用器具が見える。



古い木のベンチの上に、新商品が並ぶ。



創業者のレシピノートなどを展示し、さりげなく伝統をアピール。



ブランドカラーの黄色とグレーのクッションを窓辺に並べて居心地の良い空間をアピール。右は工房空間。